

# 洋上風力発電の導入促進に向けた最近の状況

---

令和4年6月29日  
国土交通省港湾局

日付	主な動き	対応ページ
令和4年 3月11日	「将来的に基地港湾の指定見込みのある港湾(ふ頭)」に係る港湾管理者への意向確認調査を実施(～5月13日)	7
3月18日	「秋田県八峰町及び能代市沖」における公募の実施スケジュール見直しを公表	3
3月22日	第13回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催	5
4月26日	「長崎県五島市沖」における公募占用計画を認定(再エネ海域利用法における初めての認定)	4
5月23日 5月30日	第14回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催 第15回 //	5
5月31日 6月20日	有望な区域である「長崎県西海市江島沖」、「新潟県村上市及び胎内市沖」における第3回協議会をそれぞれ開催し、協議会意見を取りまとめ	8
6月23日	第16回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催	5・6

# 洋上風力発電に係る基地港湾及び促進区域の位置図

## 青森県沖日本海(北側)

## 青森県沖日本海(南側)

令和2年12月25日第1回協議会開催  
令和3年12月22日第2回協議会開催

## 秋田県八峰町及び能代市沖

令和3年12月10日公募開始(スケジュール見直し中)

## 秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖

令和2年11月27日公募開始  
令和3年12月24日事業者選定

## 秋田県由利本荘市沖(北側)

## 秋田県由利本荘市沖(南側)

令和2年11月27日公募開始  
令和3年12月24日事業者選定

## 福岡県響灘沖

## 佐賀県唐津市沖

## 長崎県西海市江島沖

令和3年4月23日第1回協議会開催  
令和3年9月30日第2回協議会開催  
令和4年5月31日第3回協議会開催

## 長崎県五島市沖

令和2年6月24日公募開始  
令和3年6月11日事業者選定

## 北海道岩宇及び南後志地区沖

## 北海道島牧沖

## 北海道檜山沖

## 北海道松前沖

## 北海道石狩市沖

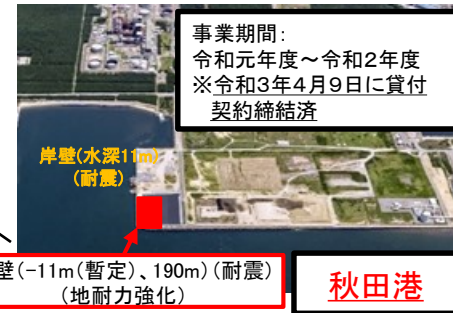
## 青森県陸奥湾



## 秋田県男鹿市、湯上市及び秋田市沖

令和4年1月25日第1回協議会開催  
令和4年5月10日第2回協議会開催  
令和4年6月24日第3回協議会開催

## 岩手県久慈市沖



## 山形県遊佐町沖

令和4年1月24日第1回協議会開催

## 新潟県村上市及び胎内市沖

令和4年1月19日第1回協議会開催  
令和4年3月24日第2回協議会開催  
令和4年6月20日第3回協議会開催

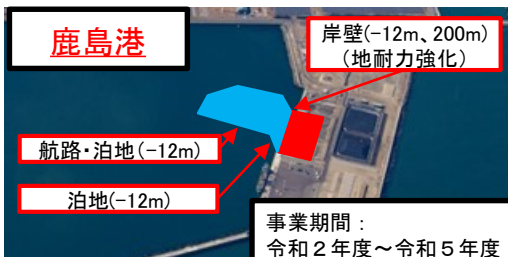
## 福井県あわら市沖

## 千葉県銚子市沖

令和2年11月27日公募開始  
令和3年12月24日事業者選定

## 千葉県いすみ市沖

令和4年2月1日第1回協議会開催



### 凡例

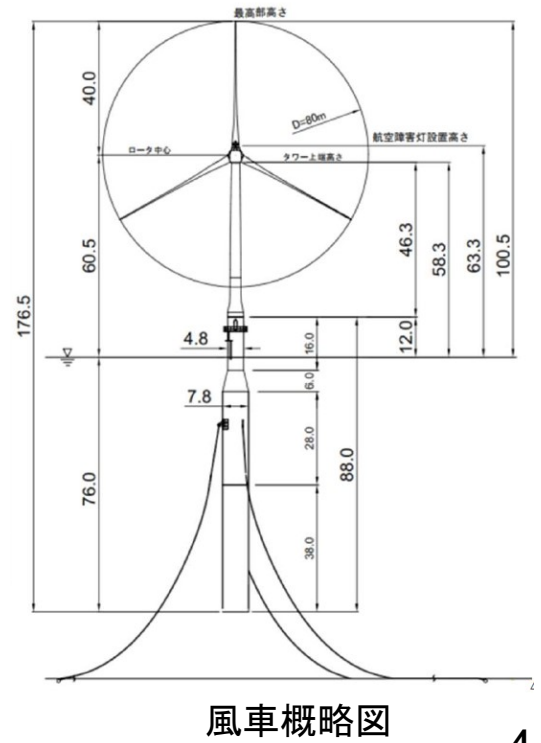
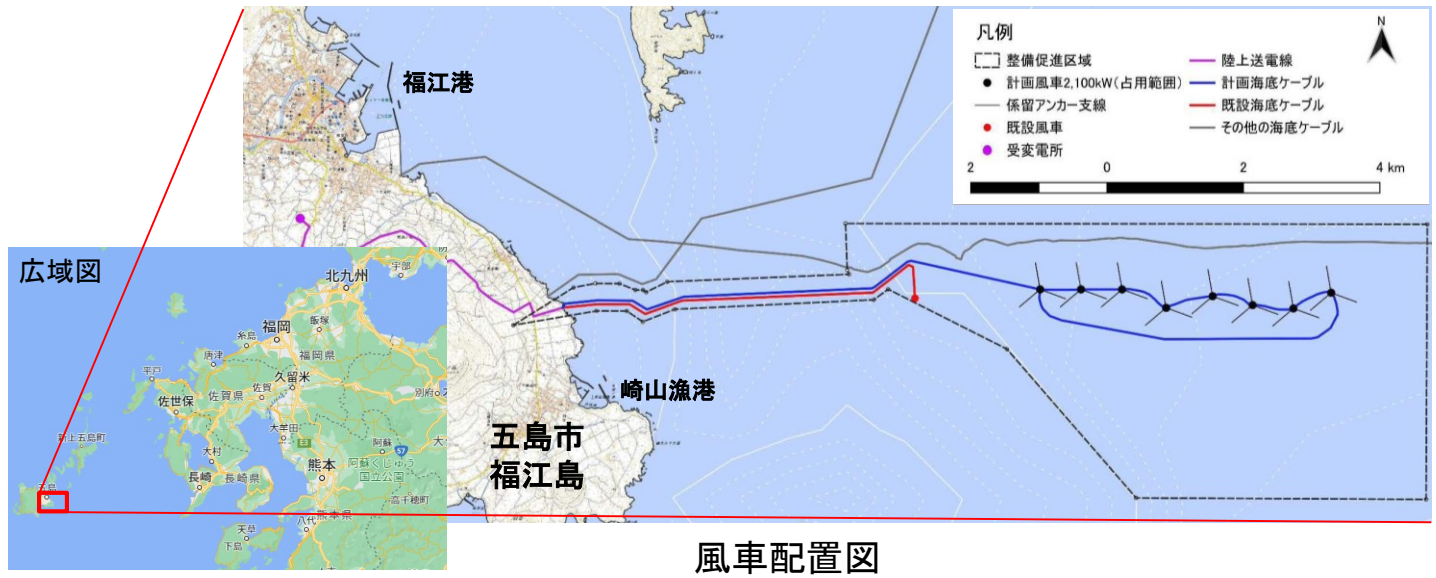
- : 促進区域(令和元年12月27日指定)(1区域)
- : 促進区域(令和2年7月21日指定)(4区域)
- : 促進区域(令和3年9月13日指定)(1区域)
- : 「有望な区域」(7区域)
- : 一定の準備段階に進んでいる区域(10区域)
- : 基地港湾(令和2年9月2日指定)(4港湾)

「有望な区域」・・・協議会を設置し促進区域の指定に向けた協議を開始するとともに、国による調査を実施する区域

○本年4月26日、再エネ海域利用法に基づく海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域である「長崎県五島市沖」について選定事業者から提出された公募占用計画を認定した(同法における初めての認定)。

## 認定公募占用計画の概要

- 選定事業者： 五島フローティングウィンドファーム合同会社  
(実施主体) (戸田建設株式会社、ENEOS株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社INPEX、関西電力株式会社、中部電力株式会社)
- 発電設備： 浮体式洋上風力発電(日立製作所製・ハイブリッドスパー型・3点係留方式)
- 出力： 16,800kW(2,100kW×8基)
- 供給価格： 36円/kWh
- 工事開始予定日： 2022年9月1日(促進区域内における設備設置工事開始)
- 運転開始予定日： 2024年1月1日
- 事業終了予定日： 2043年12月31日(運転停止予定日)



○「港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会」及び「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 洋上風力促進ワーキンググループ」の合同会議を本年3月から6月にかけて計4回開催し、事業者選定における評価の考え方等について審議を行った。

## 開催概要

### 第13回 洋上風力促進小委員会

日時:3月22日(火) 17:30~19:30

議題:「秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖」、「秋田県由利本荘市沖」、「千葉県銚子市沖」における事業者選定の総括等

### 第14回 洋上風力促進小委員会

日時:5月23日(月) 10:00~12:00

議題:再エネ海域利用法に基づく事業者選定の評価の考え方等について

### 第15回 洋上風力促進小委員会

日時:5月30日(月) 10:00~12:00

議題:再エネ海域利用法に基づく事業者選定の評価の考え方に関するヒアリング

### 第16回 洋上風力促進小委員会

日時:6月23日(木) 14:00~16:00

議題:再エネ海域利用法に基づく事業者選定の評価の考え方等について

## 委員

<交通政策審議会 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会>

椙山女学園大学現代マネジメント学部 教授

大串 葉子

<総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 洋上風力促進ワーキンググループ>

東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授

飯田 誠

東京大学大学院工学系研究科 教授

加藤 浩徳

東京大学大学院工学系研究科 教授

石原 孟

横浜国立大学 名誉教授、放送大学 名誉教授、  
神奈川大学 海とみなと研究所 上席研究員

來生 新  
(委員長)

外苑法律事務所 パートナー弁護士

桑原 聡子

早稲田大学 名誉教授

清宮 理

株式会社日本政策投資銀行 執行役員  
兼経営企画部サステナビリティ経営室長

原田 文代

一般社団法人海洋産業研究・振興協会 顧問

中原 裕幸

武蔵野大学経営学部経営学科 特任教授

山内 弘隆

(座長)



再エネ海域利用法に基づく洋上風力発電事業者の公募について、以下のとおり評価方法の見直しを行う。

- ① 早期の運転開始を高く評価 ② 事業実現性の最高評価点者が満点となる方法への見直し ③ 事業者1者あたりの落札制限を設定

※ 本年7月頃に「一般海域における占用公募制度の運用指針」の変更案についてパブリックコメントを実施し、7～8月頃に変更予定

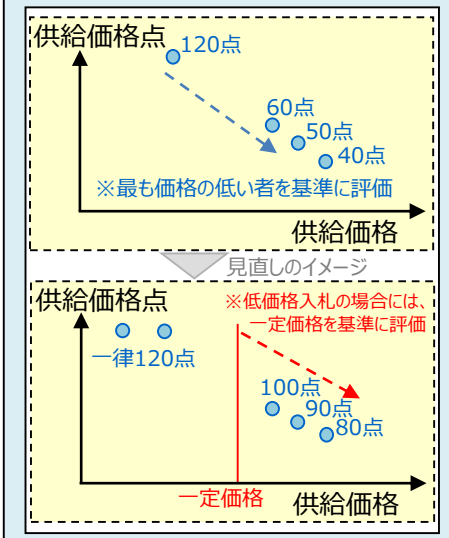
## 評価の方法

### 価格評価 (120点)

供給価格点 =  $120 \times (\text{最低供給価格} / \text{提案価格})$

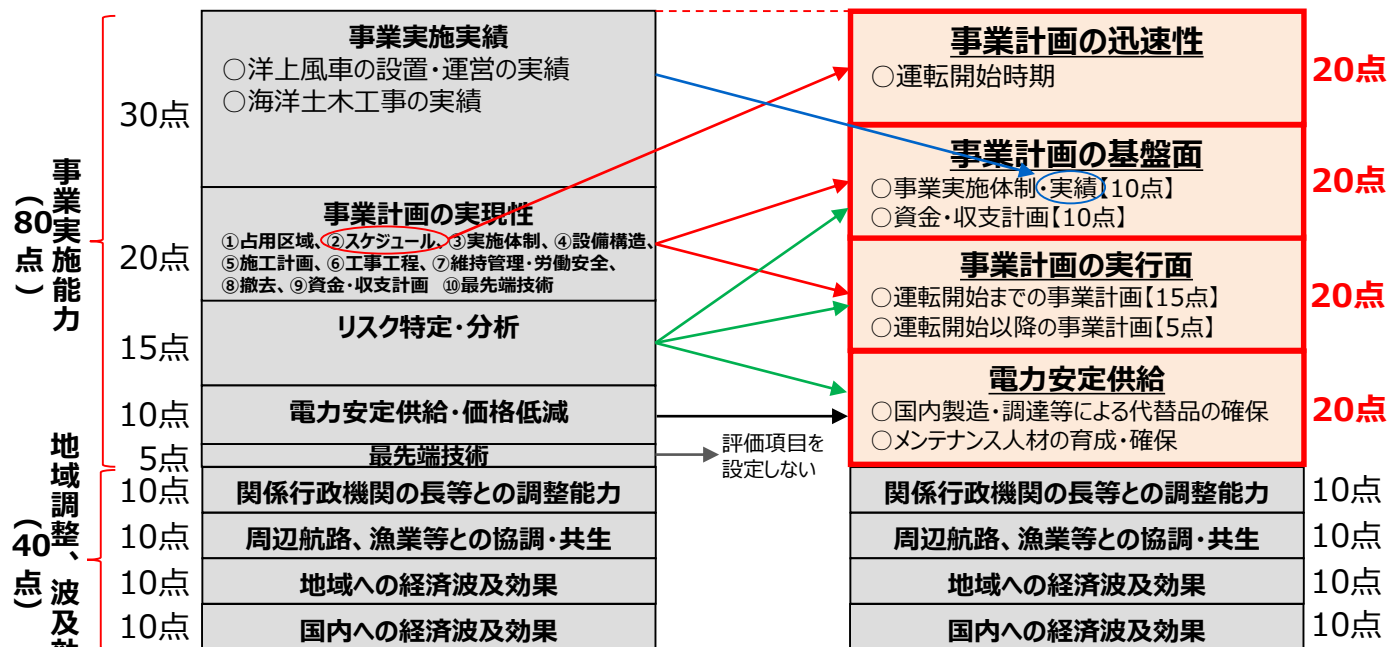
※ 最高評価点者は120点 (満点)

・公募参加者の提案価格が一定価格以下の場合、一律120点として評価する方法に見直し



### 事業実現性評価 (120点)

- ① 早期の運転開始を高く評価  
② 事業実現性の最高評価点者が満点となる方法への見直し



(参考) 秋田2海域・千葉1海域公募

今後の公募

### ③ 事業者1者あたりの落札制限を設定

- 国内の洋上風力産業が黎明期にあるため、多くの事業者に参入機会を与える観点から、事業者1者あたりの落札制限を設ける。具体的には、複数海域の公募を同時に行う場合において、例えば、1GW(ギガワット)を基準とする落札制限を想定。(同時に公募を行う海域数や出力規模を踏まえて、公募ごとに適用有無や方法を検討)

# 基地港湾に関する今後の進め方

○ 「2050年カーボンニュートラルに向けた基地港湾のあり方に関する検討会」のとりまとめを踏まえつつ、①限られた港湾空間の有効活用(広大な候補用地の確保)、②洋上風力発電の案件形成強化に向けた事業者の予見性向上、③計画的・効率的な投資等の観点から、**将来的に基地港湾の指定見込みのある港湾(ふ頭)を整理・公表**していく。

2月28日 交通政策審議会港湾分科会環境部会洋上風力促進小委員会において、新たな海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)の指定に向けた進め方について了解

3月11日 港湾管理者への意向確認を開始



5月13日 港湾管理者への意向確認×切



意向確認結果を踏まえた検討、洋上風力促進小委員会における審議



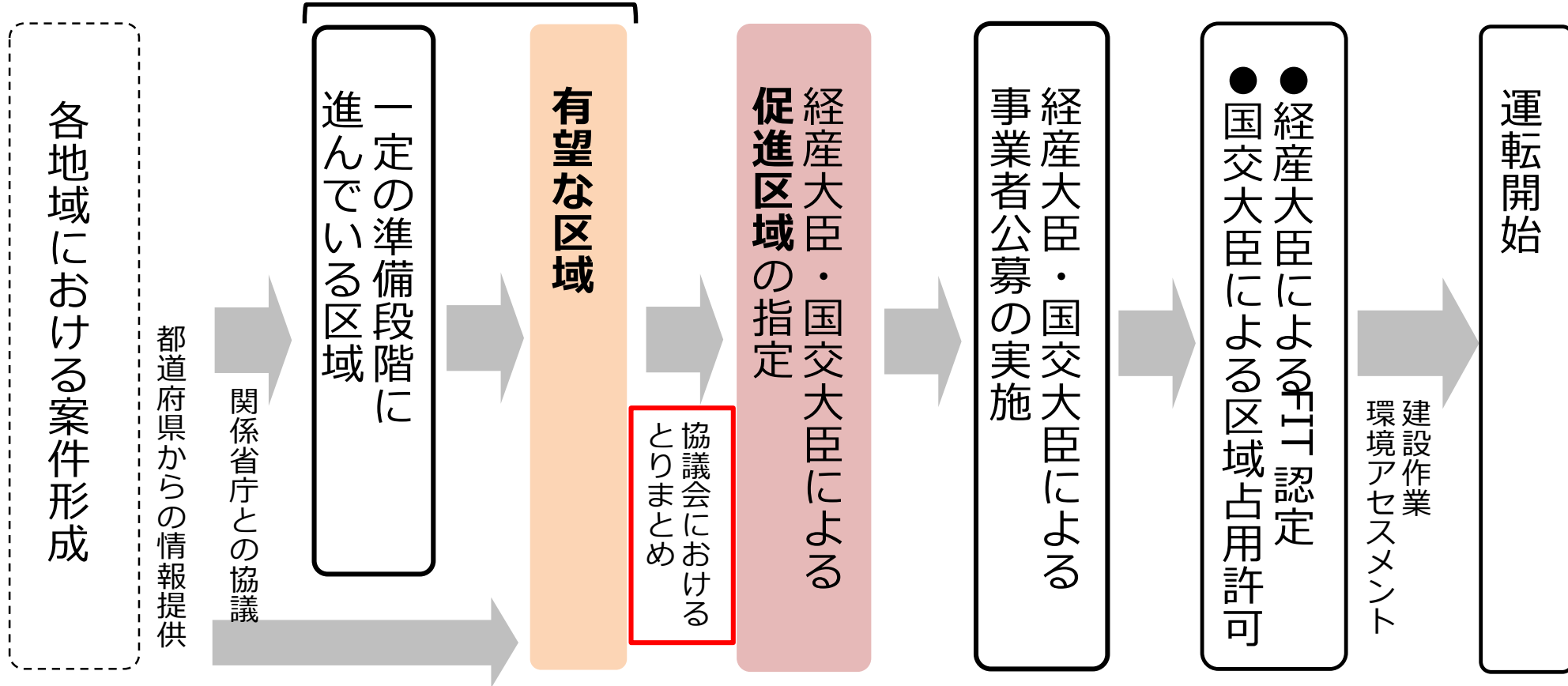
7~8月頃 **将来的に基地港湾の指定見込みのある港湾(ふ頭)の整理・公表**



随時 洋上風力発電の案件形成の状況等を踏まえつつ、基地港湾の指定の必要性が高まった段階で、基地港湾として指定

# 再エネ海域利用法に基づく区域指定・事業者公募の流れ

毎年度、区域を指定・整理し、公表



## 有望な区域における協議会開催状況

<とりまとめ済>

- 長崎県西海市江島沖： 5月31日開催の第3回協議会にてとりまとめ
  - 新潟県村上市及び胎内市沖： 6月20日開催の第3回協議会にてとりまとめ
- ⇒関係省庁協議、関係都道府県・協議会意見聴取及び公告・縦覧の手続きを経て促進区域に指定する予定。

<その他有望な区域>

- 青森県沖日本海（北側）
- 青森県沖日本海（南側）
- 秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖
- 山形県遊佐町沖
- 千葉県いすみ市沖

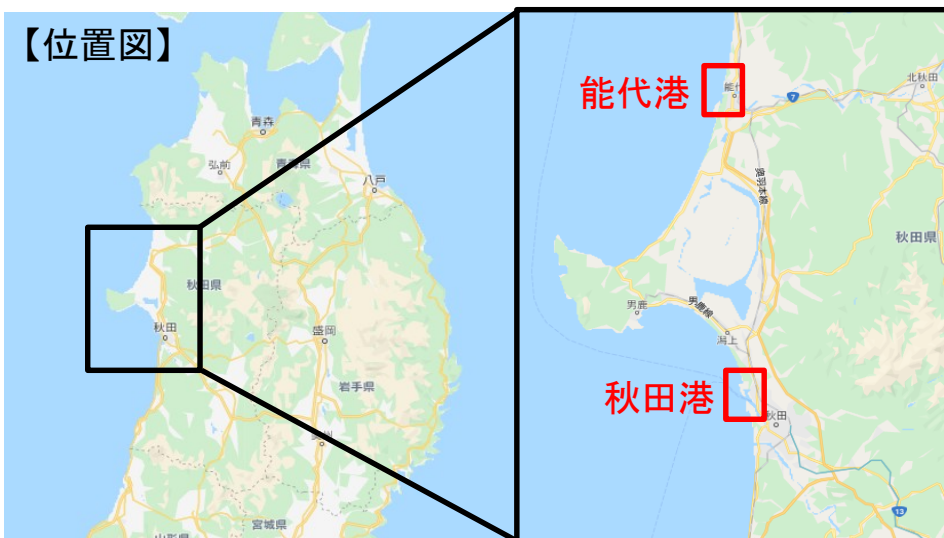


- 秋田港内及び能代港内における洋上風力発電プロジェクトは、4.2MW機を秋田港に13基、能代港に20基設置し、発電容量約14万kWとなる着床式洋上風力発電所を建設・運転・保守するもの。
- 令和3年5月から洋上工事に着手し、令和4年末に運転開始を予定している。

## <プロジェクト概要>

- 事業会社 : 秋田洋上風力発電株式会社  
(丸紅(株)、(株)大林組、東北電力(株)、  
コスモエコパワー(株)、関西電力(株)、中部電力(株)、  
(株)秋田銀行、大森建設(株)、(株)沢木組、  
協和石油(株)、(株)加藤建設、(株)寒風、三共(株))
- 所在地 : 秋田県秋田市、能代市(港湾区域内)
- 発電容量 : 約14万kW(着床式)  
(4.2MW機:秋田港13基、能代港20基)
- 総事業費 : 約1,000億円
- 運転開始 : 令和4(2022)年末(予定)
- 売電期間 : 20年間

## 【位置図】



## ○秋田港内 完成予想図



## ○能代港内 完成予想図



- 基礎(モノパイル、トランジションピース)工事は、令和3年9月に完了。
- 令和4年4月から基地港湾(秋田港)においてタワーの組立(プレアッセンブリ)作業に着手。同年6月からSEP船(Zaratan号)による風車の据付作業を予定。



<秋田洋上風力発電(株)ホームページより>



<秋田洋上風力発電(株)ホームページより>



<秋田洋上風力発電(株)ホームページより>



# (参考)石狩湾新港における洋上風力発電プロジェクトの概要

- 石狩湾新港内における洋上風力発電プロジェクトは、8MW機を14基設置し、発電容量約11.2万kWとなる着床式洋上風力発電所を建設・運転・保守するもの。
- 令和4年5月に洋上工事着工、令和5年度に運転開始予定。

## <プロジェクト概要>

事業会社 : 合同会社グリーンパワー石狩  
 所在地 : 北海道 石狩湾新港 港湾区域内  
 発電容量 : 約11.2万kW (着床式)  
 (8MW機: 14基)  
 総事業費 : 約740億円  
 運転開始 : 令和5(2023)年度中(予定)  
 売電期間 : 20年間

## ○完成予想図



<出典:(株)グリーンパワーインベストメント>

## 【位置図】



## 【位置図】

